

成果の説明書

(氏名) 坪井 明彦	(学部) 地域政策学部
1 重要事項	
(1) 教育活動	
①演習 I において、正規の授業以外に PBL (Project Based Learning) として、群馬の地酒動画 PR コンテストに参加した。	
②講義について、遠隔授業に形態が変わったために、毎回課題を課すために、その回の内容に合い、学生の興味を引くような雑誌記事を探し、そこから課題を作成し提出させた。学生は受け身の授業ではなく、課題に取り組むことで、より主体的な学びにつながるよう工夫した。	
(2) 学会活動	
①日本ビジネス実務学会における活動	
日本ビジネス実務学常任理事として、日本ビジネス実務学会の運営に尽力した。また、編集委員として、『ビジネス実務論集 No39』(2021年3月発行)の、査読や審査に尽力した。	
②日本地域政策学会における活動	
2020年6月まで事務局長(理事)として、学会運営や全国大会の開催のために尽力した。2020年7月から、支部活動組織委員長(常任理事)として、学会運営のために尽力した。	
③地域活性学会における活動	
編集委員として、『地域活性研究』Vol.13の発行のための審査に尽力した。	
④日本経営診断学会における活動	
本部幹事として、学会運営のために尽力した。	
(3) 学内業務	
教務担当学部長補佐(教務委員長)として、地域政策学部における教務事項の統括、教務委員会の準備・運営のために、尽力した。	
2020年度の前期開講において、急遽、遠隔授業の形態となったため、遠隔授業を全教員が開講できるように、準備や授業形態を決定するために、尽力した。	
また、2021年度の授業開始に向けて、原則対面授業を実施するという方針のもと、全学的にどのように授業を運営していくのかを決定するために尽力した。	
2 その他の事項	
①基礎教育センター副センター長として、一元化科目の運営のために尽力した。	
②カリキュラム改革ワーキンググループのメンバーとして、カリキュラム改革について検討した。	
3 次年度以降の計画・抱負	
コロナ禍の影響は残っているが、2021年度においても、ゼミ活動を通じた PBL に取り組むことと地域活性化に貢献するような教育・研究に取り組んでいきたい。その課題に取り組む中で地域貢献を果たすと共に学生の社会人基礎力と呼ばれるような様々な能力の向上を目指していく。	